

特集 障がい者スポーツを知ろう！

introduction

障がい者スポーツ医や関係メディカルスタッフが各地で障がい者スポーツの普及・啓発に取り組んだり、パラリンピアン活躍もあり、障がい者スポーツが国民に知られるようになりましたが、運動器を扱う医師が十分熟知していないのが現状です。わが国ではじめて開催された「長野パラリンピック冬季競技大会」や、一昨年開催された「リオデジャネイロパラリンピック」において、日本選手の活躍する姿が国民に感動を与えました。

「障がい者スポーツ」の特集は、整形外科医を主に対象とした雑誌ではほとんど取り扱われていませんでしたので、今回「障がい者スポーツを知ろう！」という特集を企画しました。

障がい者スポーツは健常者の競技スポーツと異なる点も数多くあります。そこで、総論では障がい者スポーツ全般の特徴を取り上げ、各論では障がい者スポーツに関して具体的な観点から、日本障がい者スポーツ協会・スポーツ医の役割や代表的競技について概説していただきました。総論の日本における障がい者スポーツの歴史、選手のメディカルサポート、クラス分け、選手の病態生理は、障がい者スポーツの特徴そのものです。各論では、日本障がい者スポーツ協会、障がい者の健康増進のためのスポーツ、医学的・科学的サポート、メンタルヘルス、陸上競技と水泳について、紹介していただきました。

そこで、本特集では日本障がい者スポーツ協会にかかわっておられる障がい者スポーツのエキスパートの先生方に、医師・メディカルスタッフが障がい者スポーツに取り組んだり、観戦する際に知っておいてもらいたい知識について執筆していただきました。「障がい者スポーツ」は、医師、メディカルスタッフ、関連専門職だけでなく、選手、指導者、保護者やボランティアなどが協力し合うことで、はじめて実現が可能になります。こうした方々にもぜひ本誌を読んで障がい者スポーツに参加していただきたいと思っております。ただ、誌面の制約上すべての競技を紹介することができませんでした。ご容赦願います。

「障がい者スポーツ」の普及・啓発により多くの選手が育成され、そのなかから日本の障がい者スポーツを背負って立つ選手や指導者が育成されることを期待しています。

最後に、ご多忙のなか、本特集にご執筆いただきました先生方に改めまして深謝するとともに、本誌が障がい者スポーツの検診・診療に際し常にかたわらに置かれ、読者の皆様方に役立つことを祈念し序文の挨拶と致します。

宮崎大学医学部整形外科

帖佐悦男